

栗橋城跡くりはしじょうあと

今からおおよそ五百年前の室町時代、鎌倉、北条氏照うじてる氏がここ北関東の一带を上杉謙信氏から守りぬくために、支城として築城させたものであるといわれています。

小山城(小山市)古河城(古河市)水海城(古河市)関宿城(野田市)そして竹山城(八王子市)等も、氏照氏は支城として支配したそうです。

ここ元栗橋城山は、当時の水運の便を考える
と、どうしても栗橋城は必要だったのだと考
えられます。

旧権現堂川を掘ったため、城跡は二つに分か
れてしまったが、当地は、松本氏宅を中心に、
北方に若宮八幡、愛宕権現あたごを祀る社あり。

附近には七曲ななまがりと称せられる浅いところでは
三〜四メートル、深いところでは、十メート
ル位の空堀が現存しています。

平成二十八年三月 管理者 松本家

五霞町教育委員会